



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第17号

2014年3月25日発行

ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/attaka17/>

3.11、東日本大震災から丸3年が経ちました。多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早く被災地が復興・復旧されますことを願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

ごあいさつ

「まなびば しゃべりばカフェ」始動

あったかウェルねっと 新事務局長
 須田正子(第3期推進員)

あったかウェルねっと 13年目の2013年度は、これまでの世話人会を「まなびばしゃべりばカフェ」へと模様替えした年であり、新たな展開の一年ともなりました。県社協主催「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」は、2000年第1期から始まり2010年第11期の修了者(約800名)で休止となりましたが、各地の推進員がこれまでに培った得意分野や専門性を活かし、様々な地域活動を紹介し合いながら、夏カフェ・秋カフェ・冬カフェを実施することができました。(2～3ページに詳細記事)

多くのご協力を得ながら、地域に根ざしたそれぞれの活動を通じて、多様な地域活動を知り合う機会となりましたが、これからも、誰もが参加できるつながりづくりの場を展開していきたいと願っています。

不慣れな事務局ではありますが、みなさまのご理解ご協力をいただきながら、ともに学んでいきたいと願っています。次年度もどうぞよろしく願いいたします。

お知らせ

平成26年度 総会 及び 学習会

開催日：平成26年5月10日(土)

会場：すこやかプラザ2F 研修室1・2

(JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)

対象者：1期から11期推進員、賛助会員

年会費：1,000円(振込の方は4ページに記載)

平成26年度 ネット総会

受付：10時00分

総会：10時30分～11時30分

交流会&昼食：11時30分～12時45分

※ねっとで軽食を用意します。

学習会(推進員フォローアップ)

時間：13時00分～15時30分

内容：講演およびワールドカフェでの交流

目的：この学習会は、地域で幸せに暮らすためには何が必要かを学び、様々な立場の人たちが出会って地域とのつながりについても学びあい、「豊かな心」「共に生きる力」を育み、みんなで「ふくしの輪」を広げていけるよう開催します。

講演：「地域福祉と福祉教育」

～一人一人に向き合う地域福祉とは？～

講師：菱沼幹男氏

(日本社会事業大学 准教授)

誰もが一人の人間として、今を、いきいきと、豊かに、尊厳をもって、“よりよく”暮らすことができるための必要な視点を学びましょう。

申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス：masako-s@tcat.ne.jp

事前の申し込みをお願いします。

あったかウエルねっとは、埼玉県社協主催養成研修を修了し認定を受けた「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員(以後「推進員」と略)の有志によるネットワークで、様々な立場の会員が職業・立場や地域を超え、“福祉の心”の育成のために埼玉県域で活動をしています。

たくさんのご協力をありがとうございました！

まなびば しゃべりばカフェ
県内各地で実施

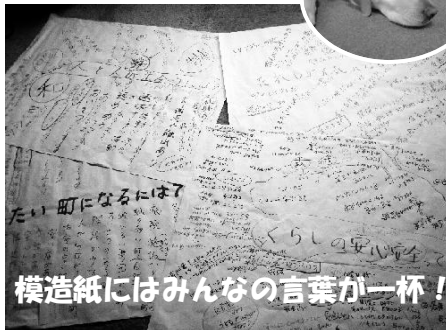
推進員養成研修は2011年で休止となりましたが、赤ちゃんから高齢者まで、福祉課題は複雑化多様化し、社会問題は山積しています。

そこで、今年度は「まなびば しゃべりばカフェ」に取り組みました。地域の福祉教育・ボランティアに関心のある人たちとの出会いの場をつくり、様々な立場を理解しあい、ボランタリーに「共に生きる力」を育んでいこうと、様々な団体のご協力をいただきながら開催することができました。

1ラウンド毎に、お茶を片手に席移動。互いを思いやってスムーズに。新たな組合せでさらに対話が弾みます。アイメイトも見守り！



席替え～！次はどこに行こうかな。



模造紙にはみんなの言葉が一杯！

カフェのようにリラックスした雰囲気の中、様々な立場の人たちが対話を楽しみながら、模造紙をどんどん埋めていきました。

…〈ひとこと〉…

- ・和やかなカフェスタイルで、たくさん意見交換ができ、とっても楽しかった。
- ・いろいろな人の意見が聞けたのが良かった。
- ・聴いてもらえる、安心して話せるって大事。
- ・どのテーブルも、あいさつ、人のつながり、和、笑顔などのキーワードが挙がりました。

第1回 夏カフェ
「ふだんのくらしのしあわせって？」
 ～ワールドカフェ方式を楽しく体験～

第1回の「まなびば しゃべりばカフェ」は、7月13日(土)に、彩の国すこやかプラザ研修室3でおこなわれました。(参加者27名)

- 今回のテーブルテーマ**
- ・住みたい町になるには？
 - ・誰もが元気になる町って？
 - ・くらしの安心安全って？
 - ・人と人が出会うには？



テーマに沿って対話

坂戸、鶴ヶ島、川越、三芳町等の推進員が企画し、「ふだんのくらしのしあわせって？」をテーマに、ワールドカフェ方式を初めて体験。1ラウンドごとに席替えをしながら、テーブルテーマに沿って、参加者それぞれの思いを語り合いました。お互いをもっと知り、新しい仲間と知り合う、楽しく充実した交流の場になりました。

第2回 秋カフェ
「みんなちがってみんないい！」
 ～ユニバーサルゲームを楽しもう～

11月24日(日)、川越市総合福祉センターオアシスの体育館で、第2回の「まなびば しゃべりばカフェ」が開催されました。寸劇を通して福祉の心や気づきの大切さを伝えている、川越市の「グループしゃぼん玉」の協力により、たくさん地域のかたが参加されました。(参加者52名)

ユニバーサルゲームを楽しもうプログラム

- ・ジャンケンゲーム
- ・音楽に合わせて動こう！
- ・手作り御輿で「おみこしワッショイ！」
- ・風船バレー



受付は大賑わい！

次から次に参加者が。受付で祭り半天を受け取り、気分もノリノリ！

出会った人とジャンケン！負けたら、勝った人の後ろにつき、数珠つなぎに。

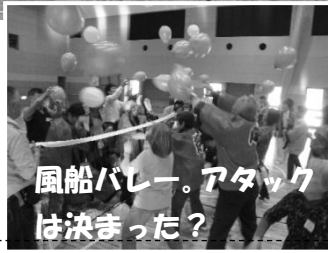
オープニングから和やかに



気持ちを合わせておみこしワッショイ！



風船バレー。アタックは決まった？



手作り御輿をかつぎ8人チームで「おみこしワッショイ！」。フチに並んだキャップを落とさないよう息を合わせて。その後は「風船バレー」でハッスル！



最後は大きな輪になって、ひとこと感想です。お疲れさま！

車いすも盲導犬も輪の一員です。

…〈ひとこと〉…

- ・久しぶりの運動で、いい汗をかきました。
- ・風船バレー、つい大きな声が出ました。
- ・障害者向けの体育館は初めて。知って良かった、また来たいです。
- ・お神輿でワッショイと叫んだのは、子供の時以来かも。とても楽しかったです。

関連団体との連携大成功！
たくさんの出会いと交流と！

第3回 冬カフェ

寒さ 飛んでけ！ユニバーサルデザイン
～心も体も ほっか ほっか～

平成26年2月16日(日)、記録的な大雪のあとで積雪が残る中でしたが、交通機関も回復し、第3回冬カフェをおこなうことができました。足下の悪いなか、機材が運びこまれ、「音声ガイド」を体験できるように準備が整えられました。(参加者34名)

心も体も ほっか ほっかプログラム

- ・魔法の言葉探し(踊りながら、歌いながら♪)
- ・ガイド付き映画「東京家族」上映
- ・ワールドカフェで意見交換

この日は、映画に音声ガイドをつける会「声なびシネマわかば」の協力で、見えない人も見える人も、聞こえない人も聞こえる人も、一緒に映画をみることが出来る「音声ガイド」の体験をしました。



手を繋いでステップ踏んで、二人の銀座～♪



音声ガイド付きの上映

テーマ(今日の体験から)

- ・楽しかったこと
- ・今日はじめて知ったこと
- ・役に立ったこと
- ・これから心がけること



ワールドカフェで交流

…〈ひとこと〉…

- ・このカフェでいろんな人と繋がり、横のネットワークが出来て良かった。
- ・見えない人には音声ガイド、聞こえない人には字幕付き…ユニバーサルって良いですね。
- ・障害がある人もない人も、みんなが普通に交流できたカフェ体験は楽しかった。
- ・大雪もアイマスクの体験からも、お互いに助け合って生きる大切さを再確認できました。

あったかウェルねっと 県内で講師役

本庄市社協 福祉教育ボランティア養成講座
～やさしい心を育もう～

山本美念子(第6期推進員・草加市)

9月4日(水)本庄市中央公民館で福祉教育ボランティアを養成する5回講座の第2回目、『ふくしってなあに』を担当しました。福祉について理解を深め、学校などでの福祉教育の充実を図るのがこの講座の目的とのこと。

まず、地域で「福祉の種まき」を続けているあったかウェルねっとの紹介。県市町村社協や関連団体と連携しながら、障害の有無・職業・地域を超えて、みんなが暮らしやすい社会にするには、と活動して

いる様子をパワーポイントで分かりやすく伝えました。

そして、聴覚障害については、見えない障害であるという具体例をあげたり、学校へ福祉授業で行くときに注意していることなども含めて、実際の学校での講演を再現しました。

また、あったかウエルねっとの活動の中で気づいた事にも触れました。例えば耳の不自由な人だけが集まる場では手話通訳というサポートを受けるばかりですが、いろんな障害の人が集まればお互いにサポートする立場にもなれるということです。

自分の行動を喜んでくれる人がいる。なんと幸せなことでしょう。あったかウエルねっとは、障害を先に見ず、一個人として接する人の集まりなのです。

社会とは、男も女も年寄りも子供も障害のある人もない人も、さまざまな人が構成して社会なのだ、と実感を持ってお話ししました。

県社協からの情報

来年度、県社協では、誰もが孤立することなく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、「共生・共助」つながりづくり運動を展開し、「ともに生き、ともに支え合う、つながりの強い人づくり、まちづくり」の活動を推進します。この趣旨に賛同する団体や県民の皆様とともに、情報発信や広報、イベント開催などの啓発事業を通じて、運動の輪を広げていきます。

運動の一環として、小中学生の作文コンクール、高校生ボランティア交流会を通じた児童・生徒の福祉マインドの醸成や、住民による福祉実践のシンポジウム、サロン実践報告会（県内4か所）等を通じ、地域福祉活動を推進します。

また、今年度に引き続き、福祉施設の社会貢献と児童の福祉教育を推進する「福祉の心を育む交流事業」や「福祉の学びを考える集い」等も実施していきます。

推進員の皆様には、福祉教育の推進にご支援ご協力いただくとともに、運動への積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

ねっと事務局より

**まなびばしゃべりばカフェをあなたのまち・地域で！
～情報交換の場を広げましょう～**

みなさんのお近くで「まなびばしゃべりばカフェ」を展開しませんか。それぞれの市町村の活動を知り合うチャンス。ねっと事務局がバックアップいたします。みなさんからの声がけをお待ちしています。

メールアドレスをお知らせください

まなびばしゃべりばカフェ等の予定はメールでもお知らせしています。メールアドレス（携帯アドレスも可）をお持ちの方は、お手数ですが、下記の新事務局までお知らせください。

ねっと新事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス：masako-s@tcat.ne.jp

ホームページは情報がいっぱい！

各種お知らせや事例集、会報バックナンバー等があります。ご覧のうえご活用ください。

【あったかウエルねっと】で検索！

<http://www.geocities.jp/attaka17/>

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費（年1000円）で運営しています。みなさまのご協力をお願いします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

シルバー川柳週めくりカレンダー。毎週めくるたびに一人でニタッと不気味な笑いをしているのですが、その中の一つに『目覚ましのベルはまだか起きて待つ』。おもわず「ケッコー、ケッコー、コケッコー」と相づちをうっていました。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク

（愛称：あったかウエルねっと）

編集：あったかウエルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会 地域活動支援課

（TEL：048-822-1435 FAX：048-822-1449）

担当：金子（VC@fukushi-saitama.or.jp）